

こども食堂開催のための支援

- 子供の食を巡っては、発育・発達の重要な時期にありながら、栄養摂取の偏り、朝食の欠食、野菜や果物の摂取不足等問題は多様化、深刻化し、生涯にわたる健康への影響が懸念されている。
- 特産物である魚介類、かまぼこ、のと野菜等を市民や子供たちに周知する活動や、食育活動として地元食材を使った調理教室等を行っている。さらに、地元食材や栄養バランスに関する知識を学ぶ食育を普及するため、「他児と楽しく食べる」、「食事マナーを学ぶ」、「伝統料理の伝承」など食育の場の提供が重要と考え、共食の場の提供としてこども食堂の活動を実施している。

石川県



七尾市

【取組の内容】

- NPO法人ひなたぼっこによるこども食堂開催
中学生、高校生延べ641名を対象として、毎週1回こども食堂を開催した。
- NPO法人ぽっかぽかによるこども食堂開催
乳幼児、児童、子育て中の保護者延べ555名を対象として、毎月1回こども食堂を開催した。使用した地場産食材をこども食堂の献立とともに記載し、地場産食材にどんなものがあるのか周知した。



（夏休みに実施したこども食堂における調理体験の様子）



（こども食堂での食事の様子）

【取組の成果】

- 「かもうりとひき肉のあんかけ」など地場産食材を使用した料理を提供することで、伝統料理の伝承を図ることができた。
- 「大人数で食事ができて楽しかった。」「にぎやかな雰囲気食べられて楽しかった。」など、共食の良さを実感する声が上がった。

【事業の目標】

- 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合
事業実施前 74.8%

↓
事業実施後 86.6%

- 地域等で共食したいと思う人が共食する割合
事業実施前 42.7%

↓
事業実施後 98.6%

